

むりょうじゅじ

しょうろう

無量寿寺

鐘楼



■ 指定年月日
昭和49年3月31日

■ 所在地
銚田市鳥栖

■ 年代
江戸時代

享保12年（1727）、当住十六世順庸の代に笠間の住人吉川保 他5名の優れた大工により建立されたものである。桁行、梁間とも1.8m、袴腰付。屋根は茅葺の切妻造で、軒は一間、角柱は23cm、柱間は袴腰上部のところで2.32mである。

角柱の頭貫に台輪をのせ、大斗と杵肘木をうける。中備は板臺股に斗・肘木をのせたもので、その上の桁を渡し大きな板臺股と斗花肘木によって棟木を受ける。懸魚はカブラである。